

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2002 年 5 月 16 日 (16.05.2002)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 02/38524 A1

- (51) 国際特許分類: C07C 15/20, 15/56, Masakazu). 細川地潮 (HOSOKAWA, Chishio); 〒
C07D 333/16, C09K 11/06, H05B 33/14 299-0205 千葉県袖ヶ浦市上泉1280番地 Chiba (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/09659 (74) 代理人: 大谷 保, 外(OHTANI, Tamotsu et al.); 〒
105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目8番27号 巴町アネッ
(22) 国際出願日: 2001 年 11 月 5 日 (05.11.2001) クス2号館4階 Tokyo (JP).
- (25) 国際出願の言語: 日本語 (81) 指定国 (国内): CN, IN, JP, KR.
- (26) 国際公開の言語: 日本語 (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE,
DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).
- (30) 優先権データ: 特願2000-339938 2000 年 11 月 8 日 (08.11.2000) JP 添付公開書類:
— 国際調査報告書
(71) 出願人: 出光興産株式会社 (IDEMITSU KOSAN CO., LTD.) [JP/JP]; 〒100-8321 東京都千代田区丸の内三丁
目1番1号 Tokyo (JP). — 請求の範囲の補正の期限前の公開であり、補正書受
領の際には再公開される。
- (72) 発明者: 池田秀嗣 (IKEDA, Hidetsugu). 新井宏 2文字コード及び他の略語については、定期発行される
昌 (ARAI, Hiromasa). 舟橋正和 (FUNAHASHI, 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: ORGANIC ELECTROLUMINESCENT ELEMENT

(54) 発明の名称: 有機エレクトロルミネッセンス素子

(57) Abstract: A novel compound which has a diphenylanthracene structure in the center and an aryl-substituted specific structure at an end thereof; and an organic electroluminescent element comprising a pair of electrodes and formed therebetween a thin organic-compound film which is either a luminescent layer or a multilayer structure including a luminescent layer, wherein at least one layer of the thin organic-compound film contains the novel compound. The novel compound has a high luminescent efficiency, excellent heat resistance, and a long life and emits a blue luminescence with a satisfactory color purity. The organic electroluminescent element utilizes this novel compound.

(57) 要約:

本発明の新規化合物は、中心にジフェニルアントラセン構造を持ち、末端にア
リール基で置換された特定構造を有し、有機エレクトロルミネッセンス素子は、
一対の電極間に発光層または発光層を含む複数層の有機化合物薄膜を形成してな
る有機エレクトロルミネッセンス素子において、該有機化合物薄膜の少なくとも
一層が、上記新規化合物を含有する。発光効率が高く、耐熱性に優れ、寿命が長
く、色純度が良い青色系に発光する新規化合物及びそれを利用した有機エレクト
ロルミネッセンス素子提供する。



WO 02/38524 A1